

国史編纂委員会の歴史とその活動

目次

国史編纂委員会 委員長挨拶

展望と課題

歴史

組織

施設

史料の収集・整理

研究と編纂

韓国史の情報化

韓国史データベースシステム

所蔵資料の現況

刊行・編纂物一覧：1955 2000年

史料の公開と利用

国史編纂委員会 委員長挨拶

国史編纂委員会は、韓国史の史料を調査・収集し、これらを土台に韓国の歴史を研究・編纂する国立の研究機関です。1946年に創設されて以来、委員会は「朝鮮王朝実録」・「承政院日記」など1,000余巻におよぶ史料集を刊行し、各種の古書・古文書、ならびに海外に所在する史・資料の収集を行ってきました。

国史編纂委員会は、韓国の歴史研究を発展させるため、多年にわたり多くの歴史研究者に研究費を助成してきました。それらは、最近の韓国史研究の成果として、新編「韓国史」としてまとめられているところです。

また現在、国史編纂委員会は、所蔵史料のデータベースを構築してインターネット上で公開し、韓民族最大の歴史史料である「承政院日記」のデジタル化事業を推進しているところです。そして現在、本委員会のホームページは、韓国史関連の学術情報のみならず、市民からの問い合わせにも対応できるよう、コンテンツを多様化しています。同時に、韓国歴史用語シソーラスを開発して、韓国歴史情報の統合システムを整備することにより国内はのみならず諸外国の人々にも、韓国の歴史と文化をよりわかりやすく理解出来るように努め、韓国の歴史研究分野における総合情報センターとしての役割と任務を遂行しています。

国史編纂委員会はこれまで、国内外の専門研究者らに研究資料を提供してまいりました。現在は海外に散逸した史料を収集する、「海外所在韓国史資料収集・移転事業」を積極的に推進しています。さらに、国民がみずからの歴史と文化を正しく理解できるようにすることにも関心を注いでいます。

そして来るべき統一に備え、民族としての実態を確立する点でも努力する所存です。いま推進されている「統一対備韓国史南北協力事業」は、究極的には南・北韓歴史学界の交流と討論を通して、南北韓の和解と協力に貢献するものと確信しています。

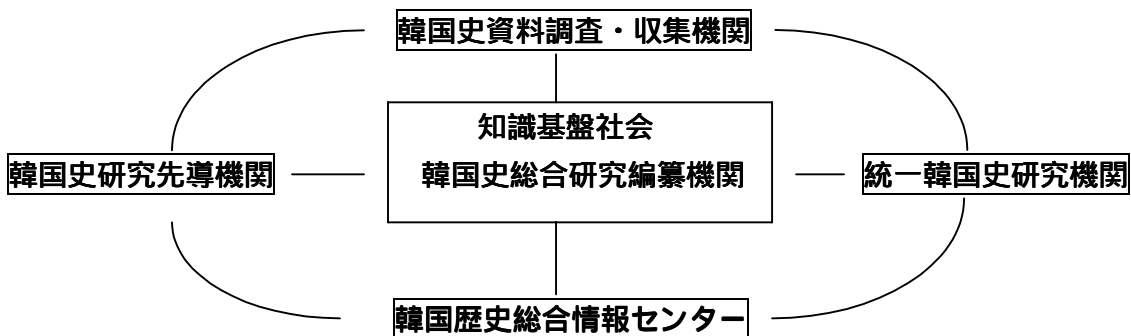
国史編纂委員会は、21世紀という情報化・グローバル化の時代を迎えて、わが国の歴史の新たな体系を確立し、民族文化の発展に寄与すべく多大な尽力を注いでいます。学界と国民の皆様の激励と支援を期待しています。

2001年 4月
国史編纂委員会 委員長 李 成茂

展望と課題

国史編纂委員会は、わが国の歴史を研究し、その体系を定立する上で必要な各種の史料の調査・収集・保存・編纂ならびに発刊を円滑に行うことで、国史研究の深化と発展に寄与する〔史料の収集ならびに保存等に関する法律〕

発展戦略



主要な内的課題

- 史料収集体系の改善
- 史料編纂の競争力強化
- 韓国史情報インフラの整備
- 韓国史のシンクタンク構築

主要な外的課題

- 学界とともに行う韓国史研究の振興
- 史料の研究ならびに研究助成
- 国民に奉仕する生涯教育の展開
- 南北統一時代に向けて史料研究・編纂

歴史

国史編纂の伝統と国史館の発足

わが国の国史編纂の伝統は、古代は高麗時代の実録編纂に始まり、その後朝鮮時代に至るまで「朝鮮王朝実録」などを残してきた。また歴史を単に過去の史実としてだけでなく、現実になお生き続ける手引き書としてとらえ、前時代の歴史を編纂してきた。「三国史記」「三国遺事」「高麗史」「東国通鑑」などの史書はそれら努力の結実である。これら作業を遂行した史官らは、歴史的事実を曲げずに記録することを美徳と考えていたのである。国史編纂委員会は、われわれの先祖たちのこのような国史編纂の伝統を受け継ぎ、独立直後の1946年3月「国史館設置規定」が制定・公布され、国史館が現在の景福宮綏敬堂に設置された。

国史編纂委員会の改組と発展

大韓民国政府樹立後の1949年、国史館は文教部直属の国史編纂委員会として改組され、「朝鮮王朝実録」「備辺司臚録」など韓国史の基礎史料の編纂に力を注いだ。

1965年、専任委員長制となった以後は、「承政院日記」を脱草・編纂する大規模な事業を開始し、「高宗時代史」「韓国独立運動史」「日帝侵略下 韓国 36年史」「資料大韓民国史」を編纂して、韓国史の研究領域を広げていった。

1970年代に至ると「韓国史」と「韓国史論」の編纂に着手し、韓国史の研究成果を集大成し、韓国史の未開拓分野に対する問題を解決しようとした。

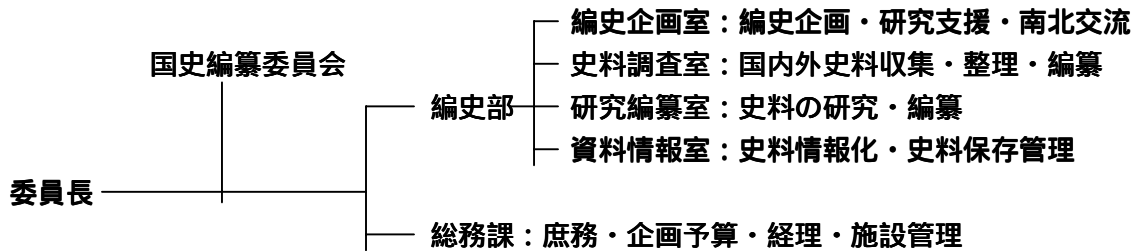
1987年、現在の果川庁舎に新築・移転するとともに、「史料の収集と保存等に関する法律」が制定されて、韓国史の史料収集・編纂機関としての法的根拠が用意され、いまや21世紀に対応できる韓国史の総合研究編纂機関としての役割を遂行するために、史料の収集・編纂・研究のみならず、韓国史のデータベース化と統一韓国史研究編纂に、最大の努力を傾けている。

歴代委員長

| | | |
|-----------------------|----------------------|-----------------------|
| 国史館長 | 申 鎬 (Shin Sok-ho) | |
| 文教部長官兼任委員長 (事務局長 申 鎬) | | 1949.3 - 1965.2 |
| 第1代委員長 | 金聲均 (Kim Song-gyun) | 1965.2.20 - 1969.10.1 |
| 第2代委員長 | 金聲均 (Kim Song-gyun) | 1970.6.11 - 1972.9.25 |
| 第3代委員長 | 崔永禧 (Choi Yong-hee) | 1972.9.26 - 1982.7.7 |
| 第4代委員長 | 李鉉淙 (Lee Hyong-jong) | 1982.7.8 - 1984.1.10 |
| 第5代委員長 | 朴永錫 (Park Yong-sok) | 1984.2.15 - 1994.7.14 |
| 第6代委員長 | 李元淳 (Lee Won-sun) | 1994.9.26 - 1999.8.1 |
| 第7代委員長 | 李成茂 (Lee Song-mu) | 1999.8.2 - 現在 |

組 織

機構図



定員

| 区分 | 総務職 | 研究職 | | 一般職 | | | 特別職 | 技能職 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|------|-----|-----|-------|
| | | 研究官 | 研究士 | 4級 | 5級 | 6級以下 | | | |
| 定員 | 1 | 20 | 22 | 1 | 1 | 15 | 3 | 16 | 79(9) |
| 現員 | 1 | 20 | 22 | 1 | 1 | 15 | 3 | 16 | 79(9) |

() は史料研究委員として総員に含めない。

国史編纂委員会委員

| 職位 | 姓名 | 現職 | 専攻 | 備考 |
|-----|----------------------|-----------|----|-----------|
| 委員長 | 李成茂 Lee Song-mu | 国史編纂委員会 | | 韓国中世史 |
| 委員 | 李存熙 Lee Chon-hui | ソウル市立大学校 | | 韓国中世史 |
| 委員 | 柳永益 Yoo Yong-ik | 延世大学校 | | 韓国近現代史 |
| 委員 | 李炫熙 Lee Hyong-hui | 誠信女子大学校 | | 韓国近現代史 |
| 委員 | 申龍澈 Shin Yong-chol | 慶熙大学校 | | 東洋近代史 |
| 委員 | 愼鏞廈 Shin Yong-ha | ソウル大学校 | | 韓国近現代史 |
| 委員 | 李萬烈 Lee Man-yol | 淑明女子大学校 | | 韓国近現代史 |
| 委員 | 韓永愚 Han Yong-wu | ソウル大学校 | | 韓国中世史 |
| 委員 | 申溚植 Shin Hyong-shik | 梨花女子大学校 | | 韓国古代史 |
| 委員 | 朴星來 Park Song-rae | 韓国外国語大学校 | | 韓国科学史 |
| 委員 | 金貞培 Kim Chong-bae | 高麗大学校 | | 韓国古代史 |
| 委員 | 李基東 Lee Ki-dong | 東国大学校 | | 韓国古代中世史 |
| 委員 | 李秉然 Lee Byung-hyu | 慶北大学校 | | 韓国中世史 |
| 委員 | 李成美 Lee Song-Mee | 韓国精神文化研究院 | | 韓国美術史 |
| 委員 | 閔賢九 Min Hyun-ku | 高麗大学校 | | 韓国中世史 |
| 委員 | 姜英哲 Kang Young-cheul | 国史編纂委員会 | | 韓国中世史編史部長 |

施 設

庁舎面積

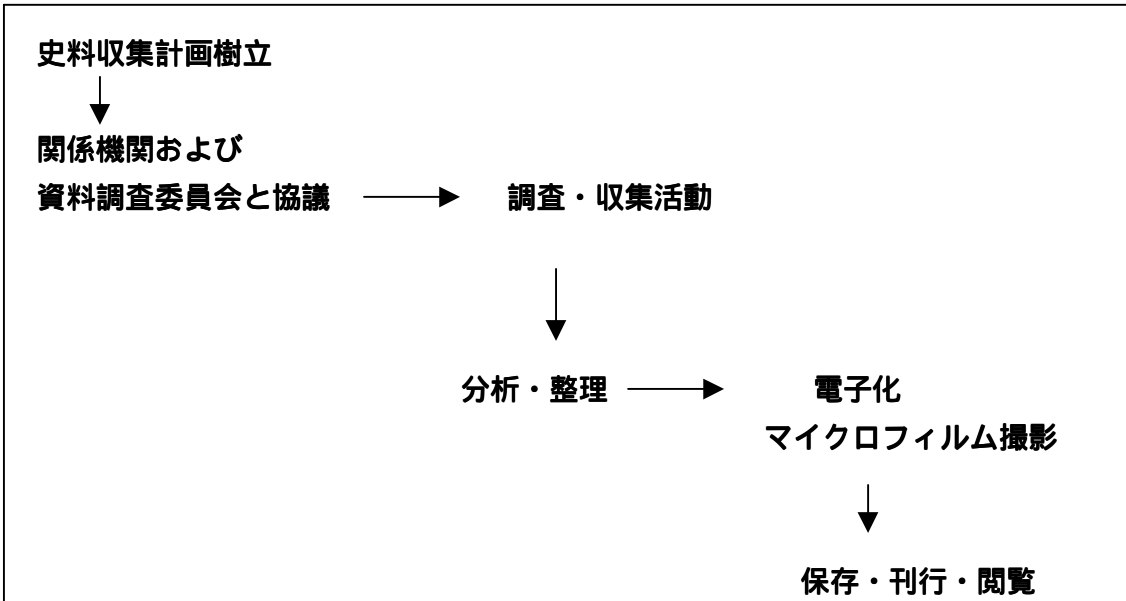
| | |
|---------|-------------------------|
| 敷地： | 20,595.4 m ² |
| 建物：延べ面積 | 12,906.7 m ² |
| 本館： | 3,964.7 m ² |
| 国史館： | 7,634 m ² |
| 支援施設： | 1,243.7 m ² |
| 竣工： | 1986.12.10 |
| 開館： | 1987.3.23 |

施設配置

| 本 館 | 国 史 館 |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| 3 階 研究編纂室 史料調査室 | 3 階 大会議室 研修課程講義室 |
| 2 階 委員長室 編史部長室 編史企画室 小会議室 | 2 階 資料情報室 閲覧室 史料復元室 韓国史研究彙報室 |
| 1 階 総務課 史料調査室 | 1 階 史料調査室 資料情報室 電算室 マイクロ撮影室 |
| 地下 食堂 1 階 トレーニングルーム | 地下 貴重本室 文庫室 1・2 階 書庫 |

史料の収集・整理

国内外に散在する韓国史関連史料を体系的に調査し、それをインターネット上で公開し、未開拓分野の史料を主題別・分類史別に収集・整理し、史料集として編纂・提供することで韓国史研究を振興する



国内史料の収集・整理

国内史料の所蔵現況調査

- ・各地方自治団体・寺院・郷校・個人所蔵史料の現況調査およびデータベース化

史料収集の支援

- ・史料調査委員を活用した、主題別・時代別史料の調査・収集を支援

地方史料調査委員会の運営

- ・地方史料調査委員 386名 / 機関史料調査委員 168名
- ・史料調査委員会の(2次/年)開催

国内史料の収集と管理

- ・訪問収集 / 史料調査委員活動 / 韓国史関連史料の納本および史料交換 / 証言採録
- ・収集史料を EDMS(Electronic Documentary Management System)によって分類・整理・登録の後、インターネットで公開

国外史料の収集・整理

海外に所在する韓国史史料の収集・移転事業

- ・ 国別・機関別に韓国史関連史料の所蔵現況を調査ならびにデータベース化
- ・ 海外に所在する韓国史史料・民主化関連史料・北韓(統一)関係史料の収集・整理
- ・ 中国・日本・米国・ロシア等への研究員派遣、調査

友館機関長協議会および国外史料調査委員会の運営

- ・ 友館機関との共助システムの構築およびネットワークの形成
- ・ 国外史料調査委員 40名

国外史料の収集と整理

- ・ 国外友館機関との協定および職員の派遣 / 国外史料調査委員活動 / 海外出張収集 / 史料交換 / 収集史料を EDMS により分類・整理・登録の後インターネットで公開、および史料集の刊行

日本の東京大学史料編纂所との協定文(2000年2月19日)

研究と編纂

韓国史研究への支援と研究書の刊行および史料の開発・編纂により韓国史研究を振興する。韓国史研究への支援と研究書の刊行は編史企画室を中心に運営し、史料編纂部門は研究編纂室が担当し、収集史料の編纂は史料調査室を中心に進める

編史企画

韓国史編纂 1991年施行 - 2002年終結を予定

韓国史 25冊刊行('73 - '79)以後の新たな研究成果を反映した 52冊の通史を編纂し、韓国史の正しい理解を確立する。

- ・「韓国史」巻 2 - 巻 4 6 刊行 (1993 - 2000)

国史館論叢 1988年施行 継続

韓国史未開拓分野と未整理分野に対する研究課題を選定して研究費を援助し、その成果を編纂し、韓国史の研究領域を拡大する。

- ・「国史館論叢」巻 1 1 - 巻 9 4 (1990 - 2000)

韓国史論刊行 1975年施行 継続

韓国史の研究成果を整理し、懸案の課題の中から主題を選定・研究し新たな史論を提示する。

- ・「韓国史論」巻 2 0 - 巻 3 0 (1990 - 2000)

韓国史学会議（セミナー） 1983年施行 - 継続

韓国史研究において提起される論争点や課題を選定し、発表や討論を行うことにより、研究の新たな方向を提示。2000年より学会と共同主催

韓国史学会議 計 27 回開催 (1983 - 2000)

- ・「韓国文化史の体系と方向設定のための基礎研究」韓国史研究会共催
- ・「歴史上における政治的予言の総合的検討」震檀学会共催
- ・「韓国史の展開と領土」韓国史学会共催

統一に備えた韓国史研究の南北協力事業 2001年施行 - 継続

南北の和解と協力の増進のために、南北韓の韓国史研究の成果の共有ならびに持続的な学术交流の支援

- ・南北歴史学の基礎調査研究 / 「南北歴史学論叢」刊行

- ・南北歴史学共同学会議の開催
- ・北韓関係史料集の刊行 1983年施行 - 継続
- ・米国所在の北韓鹵獲文書とロシアなどに散在する 1940 - 1950年代の北韓関係史料を収集・分析・整理し編纂
- ・「北韓関係史料集」巻10 - 巻34刊行(1990 - 2000)
- ・南北歴史学会議(ピョンヤン、2001)

研究編纂

承政院日記の情報化作業 2001年施行 継続

わが民族最大の歴史記録遺産たる「承政院日記」原文を電子入力し、記事索引等を抜粋・データベース化することで、文化コンテンツ作業を先導

韓国古代史料集成と電子化(中国史料) 1998年施行 継続

中国の各種文献上にあらわれる韓国古代史料を抜粋・整理して集大成し電子化

朝鮮王朝実録の標点およびCD-ROMの製作 1995年施行 2001年終結

朝鮮王朝実録を有効的に活用するために、原典「朝鮮王朝実録」に現代的な標点を加え電子化しCD-ROMで製作・普及

国訳備辺司臚録の刊行 1989年施行 継続

- 朝鮮朝後期の政治・国防関係の重要史料である備辺司臚録を翻訳・刊行し、電子化
- ・「国訳備辺司臚録」巻3 - 巻24刊行(1990 - 2000)

韓国近代史料集成の刊行 2000年施行 継続

韓国近代史関連の国内外収集史料を整理し、校閲・脱草・翻訳し編纂

韓国独立運動史資料の刊行 1970年施行 継続

- 国内外の韓国独立運動史関連資料のなかで新たに発掘された資料を整理し、資料集あるいはCD-ROMにより刊行
- ・「韓国独立運動史資料」巻19 - 巻36刊行(1990 - 2000)

韓民族独立運動史資料集の刊行 1986年施行 継続

- 韓国独立運動史の重要資料である日本植民地下の独立運動家裁判記録を脱草・校閲・翻訳し編纂
- ・「韓民族独立運動史資料集」巻11 - 巻44刊行(1990 - 2000)

収集資料の刊行

韓国史料叢書の刊行 1955年施行 継続

国内外の史料調査・収集を通して新たに発掘した重要資料を整理・編纂し電子化

- ・「韓国史料叢書」巻33 - 巻43刊行(1990 - 2000)

資料大韓民国史の刊行 1996年続巻 継続

1948年大韓民国政府樹立以後の国内外史料を収集・整理し編年体資料集を編纂

- ・「資料大韓民国史」巻8 - 巻14刊行(1998 - 2000)

韓国現代史資料集成の刊行 1986年施行 継続

独立以後の韓国現代史関連国内外史料をあらたに発掘・収集・整理し、作成機関・年度別に分類・編纂

- ・「韓国現代史資料集成」巻6 - 巻50刊行(1990 - 2000)

校書

草書である史料を脱草し編纂・電子化するために漢文・日本文の泰斗を招聘し運営

韓国史の情報化

韓国史史料のデータベース化およびインターネットサービス網を構築し、友館機関と連携して科学的な史料の調査・収集ならびに閲覧体系を確立する。
韓国歴史分野の総合情報センターとして韓国史の知識情報次元の創造・公開を管理し、政策の樹立と戦略開発業務を遂行する。

情報化作業

韓国歴史用語シソーラスの開発 2001年施行 継続

韓国の歴史用語を収集・分類し、意味的に関連のある用語を集めた語彙集（シソーラス）を構築・提供することで、効率的な歴史情報検索体系を確立し、韓国史の電子辞典開発の基礎を準備

各司牒録の電子化 1999年施行 継続

朝鮮中・後期各官庁の文書である牒録類を整理・編纂した各司牒録を電子化してインターネット上で公開するとともに CD-ROM を製作・普及

韓国史研究叢報の刊行およびインターネットサービス 1973年施行 継続

韓国史の研究活動と動向を季刊で調査・整理し、情報誌を刊行しインターネットで検索できるよう提供

・「韓国史研究叢報」巻68 - 巻111（1990 - 2000）

韓国史論著目録 DB 構築および CD-ROM 製作 2001年施行

南北歴史学会および海外における韓国史研究の成果をデータベース化して提供。また韓国史論著目録 CD-ROM を製作・普及

史料のデータベースを構築

編纂資料のデータベース

収集史料および所蔵資料のデータベース

イメージデータベース

電子編集

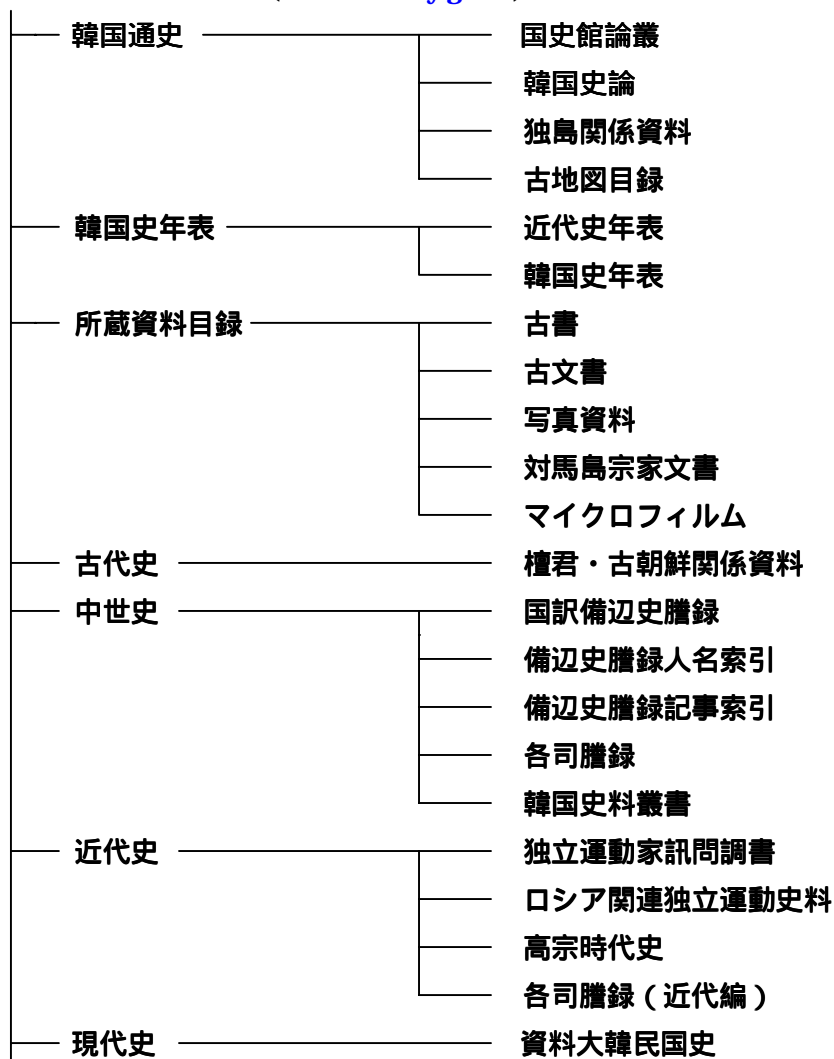
編纂・刊行物を電子入力・編集しデータベース化

マイクロフィルム資料のインターネットサービス

収集・所蔵するマイクロフィルム資料をデジタル化しインターネットで提供

韓国史データベースシステム

韓国史データベース (www.history.go.kr)



韓国歴史情報統合システム (www.koreanhistory.or.kr)

韓国歴史総合情報センターの運営

知識情報資源管理法(法律第6232号)に基づき韓国歴史分野総合情報センター業務を展開

総合情報センターの主要機能

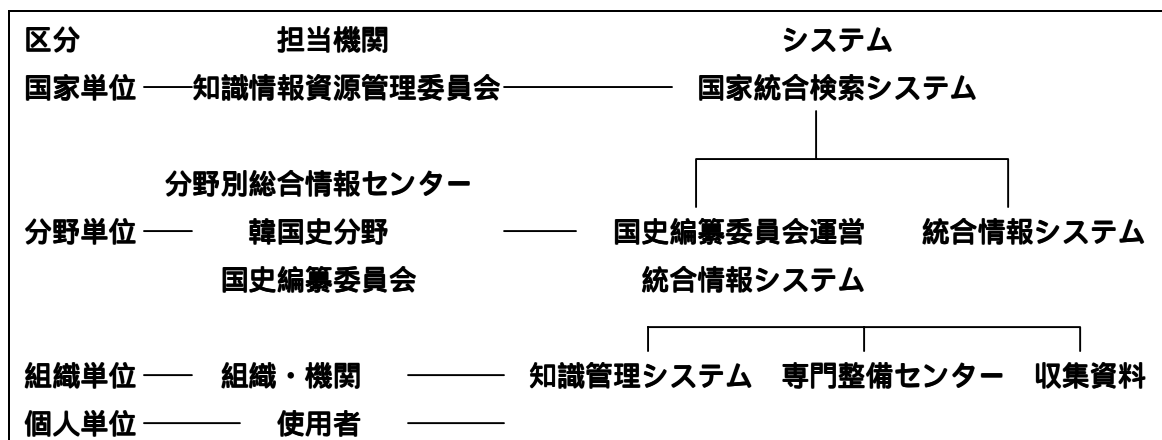
- ・韓国史分野の知識情報資源の管理に関する政策ならびに戦略開発
- ・韓国史分野の知識情報資源の共有および公開サービス

- ・ 韓国史分野の知識情報資源の収集ならびに管理
- ・ 関連する専門情報センターとの有機的協調体制の維持

2000 年度韓国歴史情報統合システムの構築事業

民族文化推進会、ソウル大学奎章閣、韓国精神文化研究院と共同主管による統合サーバーの運営ならびに管理業務の遂行

国家知識情報管理体系の概念図 韓国歴史総合情報センター



所蔵資料の現況

| 合計 | 貴重本 | 古書 | 古文書 | 収集資料 | | 一般図書 | 視聴覚資料 |
|---------|------|--------|--------|-------|-------|--------|------------|
| | | | | 複製本 | MF | | |
| 171,293 | 86 | 20,512 | 48,084 | 4,716 | 4,369 | 85,889 | 7,693 |
| | 冊(点) | 冊 | 点 | 冊 | ロール | 冊 | ロール (点) |

刊行・編纂物一覧：1955 2000年

通史 20/古代史 22/中世史 22/近代史 28/現代史 29/目録類 30/韓国歴史情報化資料 30

通史

国史上の諸問題 6冊 菊判各 200 頁前後、1959年 1960年刊行
独立後日帝により歪曲された韓国史全般の問題点を探った論文集

韓国史 25冊 新菊判各 450 頁前後、1973-1979年刊行
独立以後の韓国史研究の成果を集大成した通史

1 3巻 古代 4 8巻 高麗 9 15巻 近世
16-22巻 近代 23巻 総説 24/25巻 総索引/論著目録

韓国史(新編) 45冊ニュークラウン版各 450 頁前後、1993年 2002年 全 52巻刊
行予定

1970年代に刊行された韓国史(25冊)以後、新たな研究成果を集大成した通史

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 2巻 旧石器と新石器文化 | 25巻 朝鮮初期の社会と身分構造 |
| 3巻 青銅器と鉄器文化 | 26巻 朝鮮初期の文化 |
| 4巻 初期国家 古朝鮮・扶餘・三韓 | 27巻 朝鮮初期の文化 |
| 5巻 三国の政治と社会 1 - 高句麗 | 28巻 朝鮮中期士林勢力の登場と活動 |
| 6巻 三国の政治と社会 2 - 百濟 | 29巻 朝鮮中期の外侮とその対応 |
| 7巻 三国の政治と社会 3 - 新羅・伽 | 30巻 朝鮮中期の政治と経済 |
| 8巻 三国時代の文化 | 31巻 朝鮮中期の社会と文化 |
| 9巻 統一新羅の社会と文化 | 32巻 朝鮮後期の政治 |
| 10巻 渤海 | 33巻 朝鮮後期の経済 |

- | | | | |
|------|--------------|------|-----------------|
| 11 卷 | 新羅の衰退と後三国 | 34 卷 | 朝鮮後期の社会 |
| 12 卷 | 高麗王朝の成立と発展 | 35 卷 | 朝鮮後期の文化 |
| 13 卷 | 高麗前期の政治構造 | 36 卷 | 朝鮮後期民衆社会の成長 |
| 14 卷 | 高麗前期の経済構造 | 37 卷 | 西勢東漸と門戸開放 |
| 15 卷 | 高麗前期の社会と対外関係 | 38 卷 | 開化と守旧の葛藤 |
| 16 卷 | 高麗前期の宗教と思想 | 39 卷 | 帝国主義の浸透と東学農民戦争 |
| 17 卷 | 高麗前期の教育と文化 | 40 卷 | 清日戦争と甲午改革 |
| 18 卷 | 高麗武臣政権 | 41 卷 | 列強の利権侵奪と独立協会 |
| 19 卷 | 高麗後期の政治と経済 | 42 卷 | 大韓帝国 |
| 20 卷 | 高麗後期の社会と対外関係 | 43 卷 | 国権回復運動 |
| 21 卷 | 高麗後期の思想と文化 | 44 卷 | 甲午改革以後の社会・経済的変動 |
| 22 卷 | 朝鮮王朝の成立と対外関係 | 45 卷 | 新文化運動 |
| 23 卷 | 朝鮮初期の政治構造 | 46 卷 | 新文化運動 |
| 24 卷 | 朝鮮初期の経済構造 | | |

韓国教育史資料 2 冊 菊判各 500 頁、1973 1975 年刊行

古代より朝鮮初期までの教育関係史料集

韓国史論 30 冊 菊判各 300 頁前後、1975 年 - 継続

韓国史の研究成果を整理し、未開拓分野に対する展望と主題を選定し研究した史論集

- | | | | |
|------|--------------|------|------------------|
| 1 卷 | 古代 | 2 卷 | 高麗 |
| 3 卷 | 朝鮮前期 | 4 卷 | 朝鮮後期 |
| 5 卷 | 近代 | 6 卷 | 韓国史の意識と叙述 |
| 7 卷 | 朝鮮前期国防体制の諸問題 | 8 卷 | 朝鮮前期の書院と郷約 |
| 9 卷 | 朝鮮後期国防体制の諸問題 | 10 卷 | 大韓民国臨時政府 |
| 11 卷 | 朝鮮前期の商工業 | 12 卷 | 13 卷 韓国の考古学 |
| 14 卷 | 韓国古代史の諸問題 | 15 卷 | 韓国の考古学 |
| 16 卷 | 古代韓日関係史 | 17 卷 | 韓国の考古学 補遺編 |
| 18 卷 | 高麗史の諸問題 | 19 卷 | 韓国の考古学 補遺編 |
| 20 卷 | 高麗時代の仏教 | 21 卷 | 朝鮮後期の村社会 |
| 22 卷 | 壬辰倭乱の再照明 | 23 卷 | 29 卷 韓国史研究の回顧と展望 |
| 30 卷 | 21 世紀の韓国史学 | | |

史庫址調査報告書 1 冊 4 × 6 倍判 209 頁、1986 年刊行

朝鮮王朝実録の編纂・仕官制度・史庫の管理運営、および南韓地域にある史庫址の実態研究・調査報告書

国史館論叢 94 冊 4 × 6 倍判各 300 頁前後、1989 年 継続
国史編纂委員会韓国史研究支援費による報告論文集

韓国史研究支援報告資料集 6 冊
4 × 6 倍判各 300 頁前後、1996 - 1999 年刊行
国史編纂委員会韓国史研究支援費による主題別共同研究報告書
1) 集安、高句麗遺跡の調査研究
2) 朝鮮前期古文書集成
3) 朝鮮後期郷約資料集成
4) 朝鮮琉球関係資料集成
5) 中国内韓国近現代関係資料
6) 朝鮮時代嶺南書院資料

古代史

古朝鮮 1 冊 菊判 300 頁、1986 年刊行
旧ソ連の韓国古代史学者ユー・エム・プーチンの著書「古朝鮮」の翻訳版

中国正史朝鮮伝訳注 5 冊 新菊判各 700 頁前後、1986 年 1990 年刊行
史記から清史稿にいたる 24 種の中国正史朝鮮伝の原文の校監訳注本

韓国古代金石文資料集 3 冊 4 × 6 倍判各 500 頁前後、1995・1996 年刊行
韓国古代金石文関係資料を集大成した資料集

中世史

朝鮮王朝実録 4 8 冊 菊倍判各 700 頁前後、1955 年 1958 年刊行
朝鮮太祖元年から哲宗に至るまで 25 代 472 年間の歴史的史実を記録した実録(太白山本) 1,893 巻 888 冊の縮刷影印本

光海君日記 3 冊 菊倍判 500 頁前後、1988 年 1990 年刊行
朝鮮王朝実録の中で乱草とされた光海君日記を楷書に書き写し、削除された部分を復元した史料集

朝鮮王朝実録総索引 1 冊 菊倍判 1963 年刊行

朝鮮王朝実録分類集 12 冊 新菊判各 600 頁前後、1987 年 1994 年刊行

朝鮮太祖元年より成宗 25 年 (1494) までのすべての記事を、其の内容にしたがって

40 の基本項目に分け編纂した史料集

1 - 2 巻 軍事編 3 - 4 巻 歴史編 5 - 7 巻 思想編

8 巻 交通編 9 巻 風俗編 10 巻 変乱編

11 - 12 巻 倫理編

備辺史臚録 2 8 冊 菊判各 1000 頁前後、1959 年 - 1960 年刊行

備辺史日記の中で朝鮮光海君 9 年から高宗 29 年まで 12 代 276 年間保存された 274 冊

分の記録を楷書に脱草・書き写し復刻した史料集

国訳備辺史臚録 2 4 冊 新菊判各 600 - 900 頁前後、1989 年 継続

備辺史臚録索引 2 冊 4 × 6 倍判 1 巻 1053 頁・2 巻 779 頁、1997 年刊行

承政院日記 1 4 1 冊 菊倍判各 1000 頁前後、1960 年 - 1977 年刊行

朝鮮時代王命を出納していた承政院日記の中で、現在残っている仁祖元年 (1623) から隆熙 4 年 (1910) まで 288 年間の原本 3,245 冊を楷書に脱草・書き写し復刻した史料集

各司臚録 9 2 冊 4 × 6 倍判各 750 頁前後、1981 年 - 継続

朝鮮宣祖 10 年 (1577) より 1910 年まで、各地方官庁と中央官庁との往復文書および臚録類を楷書に脱草し編纂した朝鮮時代研究の基礎史料集

1 - 5 巻 京畿道編

6 巻 京畿道・忠清道編

7 - 10 巻 忠清道編

11 - 17 巻 慶尚道編

18 - 21 巻 全羅道編

22 - 26 巻 黄海道編

27 - 28 巻 江原道編

29 - 41 巻 平安道編

42 - 46 巻 咸鏡道編

47 巻 京畿道 補遺

48 巻 忠清道 補遺編

49 - 52 巻 慶尚道 補遺編

53 - 54 巻 全羅道 補遺編

55 巻 黄海道 補遺編

56 巻 耆社慶会曆・宗親府臚録外

57 巻 宗親府臚録

58 巻 宗親府臚録・議政府臚録

59 - 61 巻 議政府臚録

62 巻 議政府別臚録 外

63 巻 啓草存案 外

64 - 66 巻 臚録類抄

67 - 68 巻 英祖戊申臚録

69 巻 英祖戊申別臚録・純宗辛未別臚録

70 巻 籙允・籙司可攷

| | |
|--------------------|------------------|
| 71 卷 備辺史關録・定式抄録 外 | 72 卷 金吾憲録・義禁府臚録 |
| 73 卷 義禁府臚録 | 74 卷 肅宗庚申逆獄推案 |
| 75 - 77 卷 英祖戊申逆獄推案 | 78 卷 推鞠推案 |
| 79 卷 鞠廳日記 | 80 卷 戊申獄案抄 |
| 81 卷 版籍司臚録 | 82 卷 別例房臚録 |
| 83 - 86 卷 科挙臚録 | 87 卷 課試臚録・試藝臚録 |
| 88 卷 学校臚録 | 89 卷 学校臚録・童蒙禮講臚録 |
| 90 卷 勅使臚録 | 91 卷 勅使登録・朝賀臚録 |
| 92 卷 典客司日記 | |

韓国史料叢書 総43種81冊 1955年 継続
国内外史料の調査・収集を通して新たに発掘した重要史料の編纂資料集

1. 梅泉野録 1冊 菊判546頁、1955年刊行
梅泉黄の秘史により、高宗元年(1864)大院君の執政から1910年に至るまで47年間の史実を記録した近代史研究資料
2. 騎驢隨筆 1冊 菊判434頁、1955年刊行
大韓帝国末期より独立当時までの愛国者の事績を騎驢子宋相燾が編集した著書から、とりわけ韓末の義兵活動の様相を記録した資料
3. 海鶴遺書 1冊 菊判212頁、1956年刊行
大韓帝国末期の政治・経済・文化・思想を伝える海鶴李沂(1848-1909)の著述
4. 韋庵文稿 1冊 菊判560頁、1956年刊行
韋庵張志淵の遺稿を整理したから、張在弼と権道溶が編纂した韓国近代史研究資料
5. 大韓季年史 2冊 菊判各470頁、1957年刊行
独立協会の重要幹部であった秋人鄭喬の著述で、1864年から1910年まで朝鮮王朝最後の47年間の大小とりまぜた歴史を記録した資料
6. 従政年表・陰晴史 1冊 菊判230頁、1958年刊行
魚允中の1866年から1893年まで26年間の日記である3冊の従政年表と金允植の領選使日記である陰晴史を合本した資料
7. 閔忠正公遺稿 1冊 菊判224頁、1958年刊行

忠正公閔泳煥（1861 - 1905）が残した文集であり、大韓帝国の対外関係関連の近代史研究資料

- 8 . 壬戌録 1冊 菊判 413 頁、1958 年刊行
哲宗 13 年（1862）と 14 年に晋州で端を発し、全国に拡散した民乱の諸般事項とこれに対する政府の施策および民心収拾に関する 6 種の記録を集めて編纂した資料集
- 9 . 修信使記録 1冊 菊判 693 頁、1958 年刊行
高宗時代修信使として日本に赴いた金綺秀の日東記游と修信使日記、金弘集の修信使日記、朴泳孝の使和記略を合本した資料集
- 10 . 東学乱記録 2冊 菊判各 700 頁、1959 年刊行
東学農民運動関連の甲午実記、甲午略歴、錦營來札、聚語等 27 種の資料を収録した資料集
- 11 . 統陰晴史 2冊 菊判各 550 頁、1960 年刊行
雲養允植の 1887 年 5 月 29 日から 1921 年 12 月 31 日まで 35 年間の日記とその附録である追補陰晴史をはじめとして、海西繡啓・対日本長書等を収録した資料集
- 12 . 貞 集附北学議 2冊 菊判 450 頁、1961 年
正祖時代の北学派学者朴斎家の詩文とその叙述である北学議を合本した資料集
- 13 . 三峯集 1冊 菊判 407 頁、1961 年刊行
鄭道傳の文集で、經濟文鑑・朝鮮經国典などを収録した資料集
- 14 . 瑣尾録 2冊 菊判各 407 頁、1962 年刊行
壬辰倭乱当時の民間人吳希文の避難日記で、彼の 12 代目の子孫である鼎根の保管本を編纂した資料集
- 15 . 西征日記・陣中日記 1冊 菊判 395 頁、1964 年刊行
1811 年の洪景來乱時の西征軍の左哨官方禹鼎の西征日記と 1811 年 12 月 18 日洪景來の嘉山・郭山起兵より翌年 10 月 13 日までの史実を記録した著者未詳の陣中日記
- 16 . 辺例集要 2冊 菊判 700 頁、1970 - 1971 年刊行
壬辰倭乱以後約 200 年間にわたる差倭・漂倭・条約書契と路引・公貿易・倭館など、朝日間の関係を記録した資料集

- 17 . 大韓帝国官員履歷書 1冊 菊倍判 950 頁、1972 年刊行
光武 4 年 (1900) より 1910 年までの間の大韓帝国官員 3,150 名の履歷書を整理・編纂した資料集
- 18 . 心山遺稿 1冊 菊判 400 頁、1973 年刊行
心山金昌淑が国内外で叙述した詩文と、彼の抗日独立運動を自叙した 73 年回想記上・中・下 3 編を総合した資料集
- 19 . 尹致昊日記 11冊 菊判各 400 頁、1973 年 - 1989 年刊行
佐翁尹致昊 (1865 - 1945) の高宗 20 年 (1883) から 1943 年までの日記
- 20 . 輿地圖書 2冊 菊倍判各 1,200 頁、1974 年刊行
朝鮮英祖代である 1757 年から 1765 年までの各道の邑誌を集め編纂した資料集
- 21 . 昭義新編 1冊 菊判 312 頁、1975 年刊行
殺菴柳麟錫とその義挙同門らの衛正斥邪および義兵関係資料を集め編纂した昭義新編 8 巻の 4 冊と、この補完本昭義統編 2 巻 1 冊を合本した資料集
- 22 . 青又日録 1冊 菊判 501 頁、1976 年刊行
高宗 10 年 (1873) 10 月から高宗 21 年まで 12 年間の事件と風俗などを記録した金銜圭の青又日録のうち仁巻を収録した資料集
- 23 . 韓溪遺稿 9冊 菊判各 400 頁前後、1976 年 - 1982 年刊行
独立運動家韓溪李承熙 (1847 - 1916) の韓溪集を底本に整理・編纂した資料集
- 24 . 同文彙考 4冊 菊倍判各 1,000 頁前後、1978 年刊行
正祖 12 年 (1788) 承文院で編纂した対清ならびに対日本校章文書 96 巻 60 冊の影印本
- 25 . 龍湖間録 4冊 菊判各 500 頁前後、1979 年 - 1980 年刊行
純祖初期から高宗終期までの政治・文物に関する龍湖間録筆写本 23 冊を謄写し刊行した資料集
- 26 . 鳳樓・鳳南日記 1冊 菊判 600 頁、1979 年刊行
韓末全羅南道チャンソン地方の鳳樓邊相轍・鳳南邊南基・晦山邊昇基の日記を収録した資料集

- 27 . 羅巖隨錄 1冊 菊判 519 頁、1980 年刊行
韓末の儒学者羅巖朴周大 (1836 - 1912) の近代主要事件の関連記録
- 28 . デニー文書 1冊 菊判 370 頁、1981 年刊行
1886 年から 4 年間高宗の顧問として活躍した米国人 O.N.Denny の韓国関係書簡と新聞記事および彼の著書清韓論を収録した資料集
- 29 . 日新 1冊 菊判 894 頁、1983 年刊行
光武 2 年 (1898) より 6 年まで、独立協会などの諸事件を記録した、著者未詳の資料集
- 30 . 關東倡義録 1冊 菊判 350 頁、1984 年刊行
韓末關東地方の義兵閔龍鎬 (1865 - 1922) の親筆遺稿と西征日記・江北日記、詩文などを編集した資料集
- 31 . 響山日記 1冊 菊判 300 頁、1985 年刊行
響山李晩燾 (1842 - 1910) の高宗 3 年 (1866) 9 月から光武 7 年 (1903) 2 月までの日記
- 32 . 道東淵源録 附 韜菴集 1冊 菊判 640 頁、1988 年刊行
韜菴吳希吉 (1556 - 1625) の道東淵源録と韜菴先生文集を合本した資料集
- 33 . 東史約 2冊 菊倍判各 850 頁、1989 年 - 1990 年刊行
三韓正統論の観点からわが国の歴史を叙述した茅亭李源益 (1792 - 1854) の著書を影印復刻した資料集
- 34 . 朝鮮社会史資料 3冊 4X6 倍判各 850 頁、1990 年 - 1991 年刊行
南原・公州地域の郷内と組織に関連した古文書を整理・編纂した資料集
- 35 . 竹溪日記 1冊 新菊判 1,000 頁、1992 年刊行
宣祖 25 年 (1592) から光海君 5 年 (1613) までの竹溪趙應録の壬辰倭乱関係日記
- 36 . 壬辰記録・龍灣聞見録 1冊 新菊判 860 頁、1993 年刊行
萊園鄭琢の壬辰丁酉両乱ならびに朝鮮と明国の関係を記録した資料集

- 37 . 龍蛇雜録 1冊 新菊判 600 頁、1994 年刊行
宣宗代の藥園鄭琢の龍蛇雜録を編纂した資料集
- 38 . 朝鮮時代史草 I 1冊 新菊判 655 頁、1995 年刊行
仁祖代菊堂鄭泰齋の史草と仁宗戊寅年の史草
- 39 . 朝鮮時代史草 II 1冊 新菊判 472 頁、1996 年刊行
點筆在金宗直の畢齋堂后日記と明宗代雲川金涌の堂后日記草本をはじめとして、兼春秋日記・春秋館日記・承政院堂後日記などを編纂した資料集
- 40 . 溪巖日録 2冊 新菊判各 716・646 頁、1997 年刊行
溪巖金玲の宣祖 仁祖年間の壬辰・丙子兩乱関連生活日記
- 41 . 黙齋日記 2冊 新菊判各 810 頁、1998 年刊行
中宗 明宗代の中央政界と慶尚道鄉村社会に関連した黙齋李文健（1494 - 1567）の生活日記
- 42 . 戒逸軒日記外 1冊 新菊判 720 頁、1999 年刊行
朝鮮肅宗 正祖代の李濬と戒逸軒李命龍の生活日記
- 43 . 郷兵日記外 2冊 新菊判各 782・850 頁、2000 年刊行
朝鮮宣祖 肅宗代にかけて慶尚北道イェアンに住んだ光山金氏 4 代、金垓・金光繼・金石廉・金石先・金純義の 120 余年間にわたる日記
- 対馬島宗家文書記録類目録集 1冊 4X6 倍判 600 頁、1990 年刊行
朝鮮後期韓日関係史研究の重要史料である本委員会所蔵対馬島宗家文書のうち、記録類 6,592 冊の内容を分類・整理した目録集
- 対馬島宗家文書書契目録集 5冊 4X6 倍判各 400 頁前後、1991 年 - 1994 年刊行
朝鮮後期韓日間の外交文書書契を要約・整理した目録集
- 対馬島宗家文書古文書目録集 I・II 2冊 4X6 倍判各 591・900 頁、1995・1996 年刊行
朝鮮後期韓日交渉過程で生まれた各種の外交貿易関係文書および藩政文書を分類・整理した目録集

近代史

高宗時代史 6冊 菊判各900頁前後、1967年 - 1972年刊行

1863年高宗即位の年より1910年日帝の併合時までの歴史に対する編年体資料集

韓国独立運動史 5冊 菊判各1,000頁前後、1965年 - 1969年刊行

1904年から1945年までの国内外における抗日独立運動関係資料集

韓国独立運動史資料 36冊 菊判各600頁、1970年 継続

近代以降8・15独立までの抗日独立運動に関する史料を収集・整理した資料集
(36集は、CD-ROMを刊行)

日帝侵略下韓国三十六年史 13冊 菊判各1,000頁前後、1966年 - 1978年刊行

日帝下36年間の歴史に関する編年体資料集

韓国独立運動史論著目録 1冊 新菊判640頁、1984年刊行

1895年から1981年まで国内外で刊行された、独立運動および日帝の植民地統治に関する論著目録

韓民族独立運動史資料集 44冊 クラウン判各600頁前後、1986年 継続

20世紀序盤、日帝の侵略に対抗して祖国独立のために力を注いだ独立運動団体、ならびに3・1運動などに身を投じた独立運動家らに対する日帝の訊問・裁判記録を翻訳・編纂した資料集

- ・1 - 2巻 105人事件公判始末書
- ・3 - 4巻 105人事件訊問調書
- ・5 - 6巻 テドンダン事件
- ・7 - 8巻 国権回復団
- ・9巻 3・1運動と国権回復団
- ・10巻 3・1運動と天道教誠米
- ・11 - 27巻 3・1運動
- ・28 - 31巻 義烈団闘争
- ・32 - 44巻 独立軍資金募集

韓国独立運動史資料集 別集9冊 菊判各600頁前後、1991 - 1993年刊行

日帝により西大門刑務所に投獄されていた独立運動家らの受刑記録カードならびに写真を、人名順に影印・刊行した資料集

駐韓日本公使館記録 28冊 ニュークラウン判各600頁前後、1986年 - 2000年刊行

本委員会所蔵駐韓日本公使館記録の原文・翻訳本(1 - 11集)と謄写本(12 - 26集)、目次索引集(27・28集)

駐韓日本公使館記録（影印本） 40冊 菊倍判各700頁前後、1988年 - 1994年刊行
本委員会所蔵写真本駐韓日本公使館記録の影印資料集

統監府文書 11冊 ニュークラウン判各600頁前後、1998年 - 2000年刊行
本委員会所蔵駐韓日本公使館記録のうち、1905年から1910年までの統監府文書を謄
写本で刊行した資料集

韓民族独立運動史 13冊 新菊判各600頁前後、1987年 - 1994年刊行
19世紀中葉以後1945年独立までの韓国独立運動に関する研究成果を整理した研究書

| | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1 - 2巻 国権守護運動 | 3巻 3・1運動 |
| 4巻 独立戦争 | 5巻 日帝の植民地統治 |
| 6巻 列強と韓国独立運動 | 7巻 大韓民国臨時政府 |
| 8 - 9巻 3・1運動以後の民族運動 | 10巻 帝国主義とアジアの民族運動 |
| 11巻 韓民族独立運動の基本的な流れ | 12巻 韓民族独立運動史研究の回顧と展望 |
| 13巻 韓民族独立運動史年表・索引（1 - 12巻の索引） | |

現代史

大韓民国史年表 2冊 4X6倍判各1,000頁、1984 - 1985年刊行
独立以後1981年3月3日までの重要事実を政治、経済、社会・文化の分野に分けて収
録した年表

資料大韓民国史 14冊 菊判・4X6倍判各850頁前後、1968年 - 1974年刊行、1998
年続刊
1945年 - 1948年までの大韓民国の歴史に関する各種公・私文書と国外資料を整理して
編纂した編年体資料集

資料大韓民国史目次索引集 1冊 新菊判850頁、1996年刊行
1968年 - 1974年に編纂された資料大韓民国史7冊に対する目次索引集

韓国現代史資料集成 50冊 菊倍判各500頁前後、1987年 - 継続
国連韓国臨時委員団文書、英国外務省韓国関係文書、駐韓米軍政治顧問文書など大韓
民国史関連国内外資料を整理して影印・編纂した資料集（1 - 42巻：大韓民国史資料集、
43巻 - 継続：韓国現代史資料集成）

| | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 - 7集 国連韓国臨時委員団文書 | 8 - 13集 英国外務省所蔵韓国関係文書 |
| 14 - 27集 駐韓米軍司令官政治顧問文書 | 28 - 37集 李承晩関係書簡資料集 |

38 - 44 集 国連の韓国問題処理に関する米國務省文書

45 集 大韓人国民会と李承晩

46 集 駐韓米軍事顧問団文書

47 - 50 集 米軍政期軍政団・軍政中隊文書

北韓関係史料集 34 冊 新菊判各 500 頁前後、1983 年 - 継続

韓国戦争当時北韓に進駐した米軍が北韓各地域で鹵獲した各種文書と、北韓軍南侵時に南韓占領地での行政資料を収集・整理した資料集

南北韓関係史料集 25 冊 菊倍判各 650 頁前後、1994 年 - 1996 年刊行

大韓民国政府樹立以後海外に散在した（米国立文書記録管理庁所蔵）休戦会談会議録などを整理して影印・編纂した資料集

1 - 10 巻 休戦会談会議録

11 - 20 巻 韓国戦争時韓米政治関係文書、米國務省政策樹立文書、大韓国内政に対する米國務省文書

21 - 25 巻 北韓軍捕虜審問報告書（1 - 10 号、1950 年 8 月から 10 月まで）

北韓史資料目録 1 冊 4X6 倍判 200 頁、1986 年刊行

本委員会所蔵北韓関係資料目録集

目録類

韓国史研究彙報 111 冊 4X6 倍判各 120 頁前後、1973 年 - 継続

国内外の韓国史研究活動と動向を調査・整理して季刊で発行する韓国史研究論著情報誌

BULLETIN FOR KOREAN HISTORICAL STUDIES 8 冊 4X6 倍判各 280 頁前後、1990 年 - 1997 年刊行

韓国史研究彙報を英文に翻訳・刊行した英文版韓国史研究論著目録集

古書目録 1 冊 4X6 倍判 650 頁、1983 年刊行

本委員会所蔵古書（複写本含む）と中枢院図書など全 4,175 種 19,569 冊に対する目録集

古文書目録 2 冊 4X6 倍判各 650 頁、1993 年 - 1994 年刊行

本委員会所蔵古文書全 19,363 点を五つの大項目に分けて整理した目録集

蔵書目録 1冊 4X6倍判800頁、1990年刊行
本委員会所蔵一般図書29,026冊に対する目録集

海外韓国史研究文献目録 1冊 4X6倍判400頁、1986年刊行
1900年以後1985年12月までに海外で刊行された韓国史関係研究論著目録集

韓国関係海外史料所蔵目録集 1冊 4X6倍判457頁、1995年刊行
1988年以後本委員会が米国で収集した資料目録

写真・ガラスフィルム目録 2冊 4X6倍判各921頁、1998年刊行
本委員会所蔵の写真・ガラスフィルム目録・解題集

韓国歴史情報化資料：韓国歴史情報統合システム構築資料

URL：<http://www.koreanhistory.or.kr/>

韓国史年表広場 12分野 31,000項目、写真資料800葉、2000年
戦争年表/市場年表/貨幣年表/奴婢年表/農民抗争年表/食料・食生活年表/近代女性年表/
近代疾病医療年表/会社企業家年表/広告年表/海外抗日運動年表/北韓年表

承政院日記 7,000面（影印本） 原文フルテキスト1,000万字、2000年
本委員会脱草の影印本承政院日記7冊（仁祖元年 孝宗7年）分

韓国近現代重要文献 8種71冊 12,800面、原文フルテキスト1,800万字、2000年

- ・ 会社資料： 朝鮮銀行会社組合要録（1921 - 1942）/帰属事業体一覧表（1949）/
全国主要企業体名鑑（1956）/会社年間（1956）/全国企業体総覧（1958）
鉱業および製造業事業体名簿（1959）
- ・ 職員録資料： 職員録（1908）/朝鮮総督府職員録（1910-1943）/職員録（1952）
- ・ 親日派関連資料： 親日派群像（1948）/民族正気の審判（1949）/反民者大公判記
（1949）/反民者罪状記（1949）
- ・ 韓国史料叢書： 梅泉野録（黄ヒョン）・ヘハクユソ（イギ）翻訳本

韓国近現代主要雑誌 57種279冊 21,100面、原文フルテキスト4,250万字、2000年

- ・ 原文提供雑誌：開闢/トンゲン/ピョルコンゴン/三千里/大東亜/三千里文学/万国婦人など7種279冊
- ・ 目次提供雑誌：キョナム教育会雑誌/新民など全50種

韓国近現代新聞史料 7種 20,150面、記事題目・各種索引語 4,220万字、2000年
1905-1936年に刊行されたコンニブ新報、シンヒャン民報、時代日報、中外日報、中
央日報、東亜日報、朝鮮中央日報の各資料

日帝時期抗日運動資料 2種 33,100面、文件題目・各種索引語 140万字、2000年
日帝検察片鉄文書(1923-1930)のうち「思想問題に関する調査書類」等 15冊/
日本外務省片鉄文書のうち「不逞団関係雑件朝鮮人の部 在西比利亞」(1910-1926)
16冊

刊行図書普及

国史編纂委員会で発行する大部分の図書は各機関や研究団体に無償で寄贈されており、一
部は政府刊行物販売センターに委託し有償で販売されている。

寄贈

- ・ 国内外韓国史研究機関・大学図書館・公共図書館・言論機関・国家機関
- ・ 手続き：申請 配本審議 配本

有償普及

- ・ 販売図書：朝鮮王朝実録分類集・韓民族独立運動史・韓国史研究支援報告資料集・
韓国古代金石文資料集・中国正史朝鮮傳訳注・大韓民国史資料集・
光海君日記・国史館論叢・韓国史・韓国史論

史料の公開と利用

所蔵・収集史料はデータベース化し、すべての人々に公開・閲覧することを原則に閲覧室を運営し、インターネットを通じたサービスを拡大することでわが国の歴史に対する理解の幅を広げ、韓国史研究の進展を目的とする。

閲覧

閲覧時間

3月-10月 9:00-17:00

11月-2月 9:00-16:30

利用方法

閲覧申請書に記載し申請

開架式書庫：連続刊行物（論文集等）・参考図書・委員会刊行本

閉架式書庫：古書・古文書・一般図書

マイクロフィルムリーダー設置運営：対馬島宗家文書・検察庁文書

複写サービス

図書資料複写：50 ウォン/一枚 (A4,B4), 100 ウォン/一枚(A3)

マイクロフィルム資料複写：150 ウォン/一枚(A4), 200 ウォン/一枚(B4)

データベース・サービス

閲覧室に別途データベースコーナーを設置し、図書検索の後利用できる

国史編纂委員会インターネットホームページを利用して図書検索が可能

国史編纂委員会インターネットホームページ・ドメイン

<http://www.nhcc.go.kr>, www.history.go.kr

所蔵資料検索：委員会所蔵図書

韓国史研究彙報：韓国史研究論著目録

韓国史データベース：国史編纂委員会刊行図書原文データベースおよび

イメージ資料

韓国歴史情報統合システム・ドメイン

<http://www.koreanhistory.or.kr>